

財務省における「補助金見直し」の取組み

- 政府全体の補助金見直しの取組について、財務省においては行政事業レビュー「公開プロセス」を活用して所要の点検を実施。

府省庁名

財務省

事業名

酒類業振興支援事業（補助金）

事業の概要

酒類事業者による海外展開に向けた取組、国内外の新市場開拓などの意欲的な取組を支援し、日本産酒類の輸出拡大及び酒類業の経営改革・構造転換を図るとともに、酒類業の健全な発達を促進する。

公開プロセスにおいて踏まえられた「点検の視点」

- 効果検証を強化し、成果に基づく制度運用へ転換すべき
- 政策目的と手段を精査し、公平で目的に即した政策設計・運用を徹底すべき

有識者からの主な指摘事項と見直し方針

- 今後、中・長期のアウトカムを集計する際には、個々の案件の目的や事業者のK P Iの設定・成果との因果関係などの効果検証を適切に行うとともに、金額のみならず、数量や製造業者数の実態の把握、酒類業全体への波及効果などの観点も踏まえ、短期から長期への一貫性のあるアウトカムの設定も検討してはどうか。
- これまでも運用面での改善が図られているが、中小・零細な酒類事業者の経営改革の実態の把握とそれに対する評価や輸出先国の公衆衛生施策などへの配慮に関する事業者の取組、日本産酒類が持つ文化的な価値の普及などの観点も踏まえながら、引き続き、事業の改善を検討すべき。

➡ 国民からの提案を取りまとめた「点検の視点」、国民の意見及び行政事業レビュー（公開プロセス）を踏まえて、酒類業振興支援事業の効果検証、政策目的・手段、透明性・効率性等が適切であるか、自己点検を実施した。

その結果、以下の見直しを実施した。

- (1) 従来は、補助事業ごとに設定された目標を達成した事業者の割合（短期）、全事業者の売上累計額（中期）、売上総利益の増加率（長期）を用いて評価するなど、必ずしも一貫性のあるアウトカムではなかったところ、事業の各段階に応じて、事業ごとに設定した短期目標が達成できたか（短期）、事業化が進捗しているか（中期）、経営改善の効果が表れているか（長期）を一貫して評価するアウトカムに見直す。
- (2) 業界全体への波及効果を高める観点から、本補助金を活用した取組事例を毎年度更新した上で国税庁ホームページに掲載する。
- (3) 輸出先国の公衆衛生施策などへの配慮や日本産酒類が持つ文化的な価値の普及などの取組を評価できるよう公募要領の評価項目に明示する。